

# 令和7年度武蔵村山市立学校 学校経営方針

学校名 武蔵村山市立第一中学校

校長名 森元 隆之

## 教育目標

人間尊重の精神を基盤として、進んで学び、心身ともに健康で人間性豊かな生徒を育成する。

- (1) 進んで学び正しく判断できる生徒
- (2) 心豊かな思いやりのある生徒
- (3) 健やかでたくましい生徒

## 1 目指す特色ある学校像

- (1) 基礎的・基本的な学力の定着や体力向上を目指し、授業の充実・改善を図り、心身ともに健やかな生徒が育つ学校
- (2) 地域との連携を図り、地域から学び、地域に貢献できる生徒が育つ学校
- (3) 道徳的心情や道徳的实践力を身に付けることを目指し、心豊かな生徒が育つ学校

## 2 経営の具体策

人権教育を推進し、生徒一人一人を生かす教育を実践する。

- (1) 年間3回以上、自尊感情やいじめの実態把握のための調査を実施する。
- (2) 月3回の校内委員会にて生徒情報を共有し、不登校生徒やいじめ防止等、特別な支援が必要な生徒一人一人への適切な対応を図る。
- (3) 体罰や不適切な指導をしない・させない職場づくりを徹底する。

教員の授業力向上と生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図る。

- (1) 電子黒板やタブレット等のICTを活用した授業実践を行う。
- (2) 各種検定、定期考査を実施し、学習計画表等の作成を通して家庭学習を定着させ、目標を達成しようと努力できる生徒を育成する。

### まちづくり学習の推進に向けた方策

- (1) 総合的な学習の時間を中心に、第一学年は「地域を知る」、第二学年は「地域から学ぶ」、第三学年は「未来に向かって」を主なテーマに学習活動を展開する。
- (2) 行政、企業等と連携した学習活動を展開することを通して、生徒が自分ごととして捉え課題を発見し、自分なりに解決策を見出して発信する力を育成する。

### 小中一貫教育推進に向けた方策

- (1) 研究主題を「感じたことを大切にし、思いや願いを実現する児童・生徒の育成」と設定し、年間3回中学校区で研究授業を実施する。なお、令和7年度・8年度については、「ゼロカーボンシティの実現」をテーマに、義務教育の9年間を見通した授業実践に取り組む。
- (2) 一中校区の小学校と連携した「スマイルコンサート（音楽会）」を開催する。異年齢集団の交流を通して生徒に地域の温かいつながりを感じさせる。